

◎北菓楼札幌本館

お菓子の町、砂川市に本店を持ち、北海道にこだわったお菓子をつくり続けている「北菓楼」は、札幌で初めての路面店となる「北菓楼札幌本館」を2016年3月18日にオープンします。「北菓楼」の想いと世界観をお伝えすることのできる旗艦店舗を札幌に持つことは、創業（1991年）以来25年越しの夢でした。

北海道の文化と歴史を集積して長年親しまれてきた旧北海道立文書館別館を改築し、世界的な建築家・安藤忠雄氏の設計で新しく生まれ変わる「北菓楼札幌本館」は、北海道の自然が生み育んだ北のお菓子と共に、北の芸術・文化と笑顔が溢れる憩いの場“サロン”をテーマに誕生します。

◎道産子・三岸好太郎と美術館

三岸好太郎は札幌生まれの洋画家（札幌一中[札幌南高]出身／1903生-1934没）。日本の近代美術を代表する画家のひとりで、美術の教科書にも掲載されています。わずか31年の人生ではありましたが、大正末～昭和初期の美術界で鮮やかに活躍した三岸好太郎の多彩な作品は、詩情とロマンに満ち、憂愁や幻想をただよわせて、いまでも多くの人を惹きつけます。妻の節子夫人も画家として有名（三岸節子）です。そして、三岸好太郎がこよなく愛した札幌の街にこそ作品を返したい、という節子夫人の思いから、北海道で初めての美術館「北海道立美術館（のちに三岸好太郎美術館）」は生まれました。

現在の三岸好太郎美術館は、知事公館の北側、庭園の緑に囲まれた瀟洒な建築。アトリエのイメージを生かした心地よい空間で、全国からファンが訪れています。